

——ただいま百一歳 海外九か国で講演旅行

柏木 きょうは百一歳の昇地先生に、名古屋の本学までお越しいただきまして、大変恐縮しております。

昇地 お会いするのを楽しみにしておりました。よろしくお願ひします。

柏木 それにしても立ち姿といい、お顔の色つやといい、どう見ても八十五、六歳にしか見えませんよ。しかもこの夏に、四十日間かけて海外九か国を回って講演してこられたそうで。

昇地 百歳を越えても前進、また前進ということで、百一回目の誕生日を迎えた八月十六日に日本を発ちましてね、アメリカ、ドイツ、中国など、九か国十三都市を回って講演してきました。

柏木 いやぁ、驚きです。先生は人間ではないのではないかと思っております(笑)。

昇地 特に中国は、三年前に「しいのみクラス」という特殊学級をつくって、障害児教育の普及に取り組んでいます。

中国にはいま、未就学の子どもが二百万人もいるんですよ。この映画の上映を通じて、その子たちを学校に行けるようにすることが願ひでございます。いまそれに力を注いでおります。同時に、八十年間の教員生活を通じて、私は三歳児が人生の分かれ道ということを発見しました。それにもとづいて「手作りおもちゃ・親子愛情教室」というのをやってきたのですが、これがいま英語、中国語、韓国語、フランス語に翻訳されまして、各国で浸透させることに力を入れております。

柏木 いまもしいのみ学園で教えておられるのですか。

昇地 ええ。海外から帰ってまいりまして、翌日は運動会の予行演習の指導ですよ。

柏木 あぁ、翌日にはもう。



金城学院大学学長

柏木 哲夫

かしわぎ・てつお 昭和14年兵庫県生まれ。40年大阪大学医学部卒業。同大学精神科に3年間勤務した後ワシントン大学へ留学。帰国後、淀川キリスト教病院に精神科を開設。その後59年ホスピス開設。平成5年大阪大学人間科学部教授就任、淀川キリスト教病院名誉ホスピス長。16年より金城学院大学学長、日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団理事長。著書に「人生の実力」(幻冬舎刊)ほか多数がある。

人生の実力を養う

◎対談——昇地三郎 & 柏木哲夫

昇地三郎氏、百一歳。いまなお社会福祉法人「しいのみ学園」の理事長・園長を務める傍ら、世界各国に赴き、障害児教育や幼児教育の普及に奔走している。一方の柏木哲夫氏は、ホスピスケアの第一人者として、これまで二千五百名もの患者を看取り、生きる意味を追求し続けてきた。それぞれの人生を通じて見えてきた真理を交えながら、心身ともに健康で豊かな人生を創造する秘訣を語り合っていた。



福岡教育大学名誉教授

昇地 三郎

しょうち・さぶろう 明治39年北海道生まれ。本籍山口県。広島師範、広島高師へと進み教員に。昭和11年広島文理科大学入学。29年「しいのみ学園」を設立。31年ヘスタロット賞受賞。54年福岡教育大学教授退任。同大学名誉教授に。医学・文学・名誉哲学・名誉教育学博士。新万葉歌人。101歳の現在も「しいのみ学園」理事長・園長。中国長春大学名誉教授、華東師範大学名誉教授、モスクワ心理教育大学名誉教授、三才児教育学会会長、手作りおもちゃ親子愛情学校長などを務める。著書に「ただいま100歳」(致知出版社刊)ほか多数がある。

昇地 その放送の文言はよくないとか、行列をつくる時は先生は子ども

頭より低く歩まなきゃいかんとか、いろいろ注文をつけるんです。園に行けば子どもたちが寄ってきて、私の手を握って離さるのですよ。そりゃ楽しいです。

——二人の障害児を抱えて

柏木 せっかくの機会ですので、先生がその知的障害児の教育に携わるようになったいきさつをお話しいただけますか。

昇地 私は父が軍人だったものです

から、当然自分も軍人になれるものだと思います。ところが、中学の時に陸軍幼年学校の試験を受けたら、虚弱のため身体検査で落とされましてね。早くも人生最初の失墜を体験したのです。

そこで父から、「おまえは体が弱いし、